

SSI ニュースレター

2019 年度第 2 号

1. 2019 年学会大会について

2019 年 9 月 14 日（土）・15 日（日）に「これからの社会を作る情報教育」をテーマに中央大学市ヶ谷田町キャンパスで 2019 年社会情報学会（SSI）学会大会を開催いたしました。

多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

2. 2019 年度第 2 回理事会について

9 月 14 日（土）、2019 年度第 2 回理事会が開催されました。入会者（正会員 8 名、学生会員 8 名）、若手研究者への旅費支援、学会賞受賞者、各委員会・支部委員が承認されました。事務局から法人登記が完了したと報告がありました。

若手研究者への旅費支援は、海外学会支援への応募は 0 件、大会参加支援は 2 件でした。予算内だったため応募した方全員を支援とすることとしました。

また、学会誌編集委員会から 6 月以降英文誌の投稿を常時受け付けていると報告がありました。近年、和文誌への投稿は増加傾向ですが、英文誌への投稿は増えていません。本学会英文誌にも積極的に投稿くださるようお願いいたします。

3. 学会賞受賞者のご紹介

今年度学会賞を受賞されたみなさんをご紹介します（敬称略）。

学会功労賞

飯尾淳（中央大学、2019 年度大会実行委員長）

優秀文献賞

木村忠正（立教大学）著『ハイブリッド・エスノグラフィー：NC（ネットワークコミュニケーション）研究の質的方法と実践』新曜社 2018 年

大学院学位論文賞（修士）

「情報行動としてのソーシャルゲーム利用に関する考察」白石圭佑（立教大学）

大学院学位論文賞（博士）

「Using Social Media Communication Data for Recovery: A Study Exploring the Possibility of Detecting Socio-Economic Activities Following a Disaster」澁谷遊野（東京大学）

新進研究賞

白石圭佑（立教大学）および澁谷遊野（東京大学）の両者

研究発表優秀賞（2018 年度大会の研究発表）

木下浩一（京都大学）

「民放ネットワークを通じた放送規制の間接的影響：クイズ番組による関西からの情報発信」

小西利充（東京大学）

「国際的な人的交流と経済活動に関する分析－国籍別高度専門職者と国際取引に着目して－」

末岡真里奈（筑波大学）

「中高生のオンラインエスノグラフィ：Twitter を利用している吹奏楽部員に着目して」

渡辺優樹（名古屋大学）

「行政データのオープンデータ化に向けたスマートスピーカーの活用～自治体データを活用したごみ出し情報アプリの開発～」

八木翔太郎（東京大学）

「特許から見る研究開発活動と企業価値に関する実証分析」

※ 2019 年学会大会の研究発表優秀賞は 2020 年度大会で表彰されます。

4. 2020 年学会大会について

本学会の 2020 年学会大会は、同志社大学で開催されることが決定いたしました。2020 年は東京オリンピック・パラリンピックもあり、宿泊先の確保が難しくなることが予想されます。日程等については決まり次第お知らせいたします。

一般社団法人社会情報学会
総務委員会